

つれづれ

平成28年10月20日(木)

キンモクセイが咲きました



一昨日、地下鉄岸里の駅で降りると、どこからともなく甘い香りがしてきました。町のそこかしこでも、いい匂いがしています。秋の花の代名詞、キンモクセイの香りです。

学校の中でも甘い香りがしています。みどり学級前のキンモクセイは満開。生活指導支援員の徳地さんが植えてくれた、事務室前の花壇のキンモクセイも小さな花をつけました。つい数日前までは、今年は咲かないのかなと思った

ぐらいでしたが、一斉に開花しました。

春のシンチョウゲ、秋のキンモクセイ。これらの花の香りは、季節の移ろいを感じさせてくれます。

ところで、キンモクセイの花言葉は、「謙虚」「謙遜」だそうです。強い香りとは裏腹に、小さな花の慎ましさからこの花言葉になったそうです。

「謙虚」の意味は、「控えめで素直なこと」。「謙遜」の意味は、「控えめな態度で振る舞うこと」。どちらの意味にも共通しているのが「控えめ」という言葉です。

人間関係において、厚かましい態度はとかく嫌がられます。厚かましい振る舞いは、周りから見ても気持ち良いものではありません。

良好な人間関係を結びたいと思うのなら、「お先にどうぞ」、「自分はまだまだです」、「喜んでさせていただきます」といった控えめな態度や振る舞いが必要ではないでしょうか。

お互いが人の気持ちをしっかり考え、「謙虚や謙遜」を意識して行動することが、人間関係の円滑化への第一歩なのです。

キンモクセイ（金木犀）：モクセイ科の常緑小高木。中国原産の観賞用植物。花持ちは10日程度。中国では丹桂と言われ、一般的には桂花と呼ばれている。白ワインにキンモクセイの花を3年間漬けたものを桂花陳酒（中国の果実酒）という。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>